

vol.44

◆ 宝珠院

◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたら、だくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

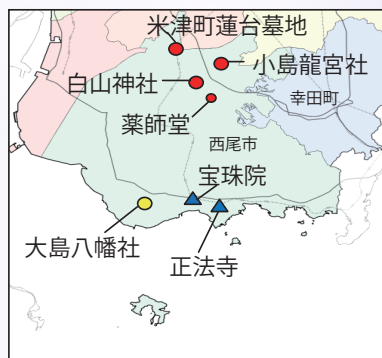
◆ 宝珠院の周辺には…

● 正法寺

所在地：西尾市吉良町乙川

交通：名鉄西尾線「吉良吉田」駅 南東 約 1.5km

門前には高潮被害の水面を示す碑が 2 基建てられており、右側が明治 22（1889）年の高潮被害の水面を記した「津なみの標」、左側が昭和 28 年 13 号台風の高潮被害の水面を記した「高潮標」です。右の碑が約 20cm 高くなっています。



● 大島八幡社

所在地：西尾市吉良町大島

交通：名鉄西尾線「吉良吉田」駅 西 約 2.5km

嘉永 7（1854）年の安政東海・南海地震で八幡社社殿や浄泉院の庫裏、村の家屋 54 軒などが倒壊して大津波が押し寄せたこと、藩主から見舞金が出されたことが棟札に記されています。その後本殿は、昭和 20（1945）年三河地震でも倒壊しています。境内には明治 22 年高潮、昭和 28 年 13 号台風の記念碑も建っています。



◆ 詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ かぼちゃサミット

日本では、冬至の日にかぼちゃを食べます。かぼちゃは夏の野菜ですが、保存がきき、鮮度がいいものより熟したもののほうが栄養分や甘みが増すことなどから、習慣になったようです。

西尾市東幡豆町の妙善寺は、かぼちゃ伝来発祥の地と言われ、別名かぼちゃ寺と呼ばれています。この妙善寺で、毎年 10 月から 12 月にかけて、かぼちゃサミットが開催され、全国から様々なかぼちゃが集合します。11 月下旬に集まったかぼちゃの審査が行われ、重量、珍種・奇形など、部門ごとに入賞作品が選定され、冬至の日（平成 29 年は 12 月 22 日）に表彰式が行われます。また、冬至の日の妙善寺では、かぼちゃ神輿やかぼちゃの輪くぐり、かぼちゃしるこのふるまいなど、かぼちゃにまつわる珍しい催しが行われます。



西尾市観光協会 HP より

12 月のあいちの花

平成 29 年 12 月のあいちの花はシンビジウムです。シンビジウムは、熱帯アジアを中心として日本からオーストラリアまでの広い範囲に分布する洋ランのひとつで、洋ランの中ではコチョウランと並んでポピュラーなもののひとつです。



みんなの園芸 HP より

開花は冬から春で主に年末に流通し、スタンダードな大輪系、カスケード系、花茎を曲げたアーチ仕立て等があります。

日本には、1859 年にトーマス・グラバーによって持ち込まれたと言われています。

● ブレイクタイム ●

♪ 竜の子街道プロジェクト

知多半島の中部国際空港から三河湾沿岸にかけて、やきもののまち・常滑、蔵のまち・半田、寺のまち・碧南、抹茶のまち・西尾が東西に連なっています。竜の子街道プロジェクトは、この 4 つの市が、醸造の伝統をはじめとした共通の地域資源を活用して新たな観光資源を創り出し、地域を活性化するためのプロジェクトです。（HP は <http://www.tatsunoko-kaido.jp/>）

4 市には、味噌 7 蔵、醤油 11 蔵、酒 7 蔵、酢 1 蔵、味淋 5 蔵があり、「うまみ」をキーワードに、オリジナルメニューの開発や食べあるきガイドの作成、バスツアーも開催されています。



◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaian2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減災の会・名古屋大学減災連携研究センター 平成 29 年 12 月）

